

宮城県伊具高等学校PTA会報
No.108 '24.3.1 増刊 10
宮城県伊具高等学校PTA
伊具郡丸森町雁歌51
TEL.0224-72-2020
URL <http://igu.myswan.ed.jp/>

'23-2

IGUJKO

伊具高祭

#青春したい宣言



令和五年度 PTA活動を振り返って

PTA会長 釧明 孝一



会員の皆様には常日頃よりPTA活動にご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、この一年を振り返ると新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、PTA活動並びに学校行事の方も無事に進んだかと思えます。まず、仙南総体や県総体が行われました。特に、八月下旬に行われた、全国高等学校PTA連合会宮城大会につきましては、全国から多数のPTAの方々に参加して頂き、二日間にわたり盛大に開催され無事に終わる事ができました。これも、皆さんの協力があったこそだと思います。ありがとうございます。校内では体育祭、文化祭が開催され、とても盛り上がりがありました。

PTA活動に関しては宮城県高等学校PTA連合会仙南支部研修会(本校主催)のもと、かくた田園ホールにて開催いたしました。多数の仙南支部高校に参加いただきました。本校の行事としては、役員研修会を予定しましたが、新型コロナウイルス感染が高止まりになった為、やむなく中止と致しました。最後に、会長二年目でしたが、全国高P連宮城大会の副実行委員長という大役を仰せつかり不安な中でのスタートでしたが、校長先生をはじめ諸先生方、役員の方々のご支援ご協力の下、なんとか無事に一年を過ごすことができました。心から御礼申し上げます。ありがとうございます。



「ごあいさつ」

校長 齋藤 隆



PTA会員の皆様には、日頃より本校の教育活動にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度は本県で全国高等学校PTA連合会宮城大会が開催され、多くのPTA活動にご協力いただきましたことに感謝申し上げます。今年度、本校が仙南支部事務局校として高等学校十三校の取りまとめを行い、県高P連主催の多くの会議に参加させてもらいました。釧明孝一PTA会長をはじめとする多くの役員の方には、全国大会だけでなく、事前準備委員会や支部研修会等で積極的に運営に携わっていただいたことに重ねて御礼申し上げます。八月二十四日の全国高P連宮城大会分科会では、仙南支部各高校PTAから合計六十名のご協力をいただき、全国から集まったPTA会員の皆様をお迎え、全国から集まりました。分科会では、「レジリエンス教育」強く生きるための多様性とコミュニケーション」と題し、仙台大学教授の氏家靖浩氏に「自己肯定感と逆境から立ち上がる力を育むことの大切さ」について講演をいただき、後半のパネルディスカッションでは活発な意見交換を行うことができました。分科会に参加された全国の方々から講演内容だけでなく、運営スタッフの対応の素晴らしさについて感謝の言葉が多く寄せられています。二日目の会場となるカメイアリーナ仙台では、2022年夏の甲子園で優勝、2023年準優勝に輝いた仙台育英学園高等学校野球部監督の須江航氏の講演がありました。甲子園大会の二日後ということもあり、会場は立ち見の皆さんも出るほどの大盛況となりました。ご協力いただいたPTA会員の皆様、ありがとうございました。

すと、四月の入学式に五十四名の新入生を迎え入れ、全校生徒百五十八名でスタートいたしました。五月の仙南支部総体では、どの部も少人数ながらハツラツとしたプレーが見られ十分に力を発揮し、六月の県総体では他校との合同チームで出場した競技もありました。が、全ての部活動でこれまでの練習の成果を発揮してくれました。六月下旬の体育祭では各クラスがオリジナルTシャツを作成し、クラス対抗で競技を行いました。日頃見たことのない違う一面を見せてもらいました。十月の伊具高祭は入場制限のない文化祭となり、ここ数年とは勝手が違い、計画や運営で苦労した面もありましたが、多くの来校者に楽しんでいただくことができました。

今年度も地域連携に積極的に取り組み、多くの情報発信を行うことができました。農業系列の大張沢尻の棚田では、二年次生が田植えから稲刈りまでの半年間の実習を行い、ザンビア農業普及員の方々や交流させていた地域・ごみステーションや子供用消毒ステーションの作成、福祉系列では竹谷地区住民との防災さんぽや防災テント、段ボールベクトルの組立を披露しました。情報系列では地域飲食店「まんま亭」とのコラボ商品開発、齋理幻夜での新聞発行など、全ての系列で多くの地域連携を行うことができました。これからの地域に根差した「なくてはならない地元の学校」として、様々な取組を行いますのでPTA会員の皆様にもご協力をいただければと存じます。

最後に、三年次生の皆さん、様々な制限がかかる中での学校生活でしたが、全てに全力で取り組み、それぞれの行事を大成功に導いてくれたことに感謝します。後輩たちの目標となる素晴らしい三年生でした。これから進む道は様々ですが、本校で学んだことを忘れずにそれぞれの進路で活躍することを期待しています。保護者の皆様には、これまでのご支援・ご協力に改めて感謝申し上げます。これからも相変わらずぬぐって厚情を賜りますようお願い申し上げます。

3年次担任団から贈る言葉



3年次主任 三浦佐貴子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ずっと共に過ごしてきたので、皆さんが入学してから三年という時間が経ったことが少し信じられません。あつという間でした。振り返ってみると、入学式はまだ新型コロナウイルスの影響で、皆マスクを取れない中のスタートで、新しい人間関係や学校生活がうまくいくだろうか不安に思っていたことを思い出します。しかし、この不安は杞憂に終わり、皆さんはそれぞれが優しい気持ちを持ち、すぐに新しい人間関係を築き、多くの場面でチャレンジする姿を見せてくれました。皆さんは確実に心身共に成長しました。これまで異動された多くの先生方も「〇〇さんは元気ですか?」「〇〇さんは頑張っている?」と遠くからよく気にかけてくださっていたので、皆さんの今の姿を見せられたらなあと思います。私は近くで皆さんの変化を見ることができ、とても嬉しいです。微力ながら年次として「もっとあつすればよかった」「これを一緒にやってみたらよかった」という思いもあります。皆さんが、共に過ごせたことに感謝しています。ありがとうございます。これからもまたそれぞれの道を進みますが、この高校三年間の積み重ねを生かし、何事にも楽しむ気持ちを忘れず、どんどんチャレンジしてください。くれぐれも健康には気をつけて。多くの人が皆さんを応援していますよ!



3年1組担任 森本 功樹

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年間一緒に過ごしてくれてありがとうございます。思い出せば入学時、皆さんはまだまだあどけなさが残る表情を

合い、友人とケンカしながらも関係を深め、先生たちともケンカし、赤点を何とか回避し、系列で知識と技術を身に付け、進路実現に向けて努力し続けた皆さんは、伊具高校生らしい凛々しい顔立ちになりました。これから皆さんは社会に出て、きつと壁にぶつかることでしょう。そんなとき、伊具高校での経験を思い出してください。悩み成長したことがヒントになるはずですよ。「伊具で過ごしたからこそ」活躍できると信じています。応援しています。



3年2組担任 藤原 弓子

三年生の皆さん、改めてご卒業おめでとうございます。高校の三年間を振り返るとどのような思い出がありますか？私には、今年一年を振り返っただけでも沢山の思い出があります。例えばそれは、日直が日誌を書いていた夕方のことです。黒板の日直の名前を、次の人の名前に書き換えてくれたときの事です。「日直の仕事、ありがとう」と伝えると、「えっ、だって日直でしょう！ただ、前日の日直の人に名前書いてもらえるのって、なんか嬉しいくないですか？先生の字とも違うし、そんな名前を見てると嬉しいですよ、日直の一日。」という言葉に、日直の仕事がなぜあるのか、その意味を見つけてくれていた姿に成長した一面を感じました。

卒業生の皆さんは、一人一人が悩みに悩み抜き、自分で選択した進学先・就職先へと羽ばたきます。ときには困難や難題が待ち受けていることでしょう。そんなときは、初心に戻り、「進学先・就職先で描いた挑戦してみたいこと、そこでしか得られない学び」を思い出してください。困難や難題は、道を一生懸命歩き続けた人にしか現れません。困難とはあなたを成長させてくれる壁の一つです。

長い人生の中で、高校三年間は長いようで、はかなく短い期間です。これからが人生を謳歌できる時期です。伊具高校を卒業してからも、切磋琢磨できる友人を作ってください。そして、伊具高校を卒業して益々飛躍する事をお祈りしています。



3年3組担任 清水 康宏

みなさんを見てみると、普段の学校生活をしているときが、一番楽しそうな雰囲気を感じます。変化を求めがちな、新しいことをしたくなり、ちがな性格なのですが、確かに日常を楽しむこともいいよね。と感じた三年間でした。

日常を楽しんでいるみなさんに伝えてきたのは、「なにかを始めるときは、できない理由を考える前にとりあえずやってみる。」「揃えるとき、決めるときはしつかり揃える。」「ということでした。三年生になって、「とりあえずやってみよう」と行動し、気合を入れて切り替えて頑張れる場面が増えてきました。よね？そんなみなさんが、新しい環境で、日々の生活を大切にしながら、決める場面では自分の全力を発揮し、活躍することを期待しています。



3年1組副担任 澁谷 理子

三年次のみなさん、保護者のみなさん、ご卒業おめでとうございませう。

私は今年度から伊具高校に転勤になり、見ず知らずの土地に足を踏み入れ、不安と期待に胸を膨らませて伊具高校にやってきました。みなさんもおそらく、同じ状況なのではないでしょうか。進学でも就職でも、これまで関わってきたことのない人との出会いや、想像もしてないような失敗が待ち受けているかもしれません。でも、意外と人生なんとかなるものなんです。命があれば、大抵の失敗は周りが支えてくれますし、友人や家族が話を聞いてくれます。先生たちも遠くからみんなを見守っています。新社会人、新入生として、誇りと自信を持って精一杯頑張ってください！



3年2組副担任 菅原 翔平

皆さん、ご卒業おめでとうございませう。私は昨年の四月に転勤してきたばかりでしたが、ありがたいたいことに体育を通して皆さんと多くの時間を過ごせました。体育の授業は得意と不得意が大きく分かれる特性があり、苦手意識を持っている人もたくさ

んいたと思いますが、皆さんが楽しく授業を受ける様子を見ることができ、私も楽しく授業をすることができました。昨年度、卒業生を送り出したときにも同じような事を伝えましたが、皆さん「感謝」の気持ちを大切にしましょう。人間誰しも一人で生きていることはできません。多くの支えがあったこの節目の時を迎えていることを感じましょう。そしてその感謝の気持ちを多くの人に言葉で伝えられるといいですね。



3年3組副担任 三浦 玲美

卒業おめでとうございませう。皆さんとは、一年という短い時間でしたが、楽しい時間を過ごさせていただきました。伊具高校での仕事のお話をもらい、私も何年かぶりに教壇に立つていたのですが、三年前から始まった新型コロナウイルスの影響を受けて、皆さんも学校や家で様々なことが起こって大変だったろうと想像します。伊具高校に初めて足を運んだ時に、「高校なのにこんなに来るのが大変なの？」と思って、私も悩んだ結果、電動アシスト付き自転車での通勤を決めたのですが、高校生の皆さんが通るのは、もっと大変だったと思います。でも、分かりました。その陰に、家族の方や教員の力があつたというわけだったんですね。

三年間、お疲れ様でした。社会に出て頑張ってください。応援しています。



3年次副主任 葛原 妙子

ご卒業おめでとうございませう。みなさんと一緒に勉強してきた二年間、一緒に勉強活動してきました。今年は、進路活動で一生懸命努力する姿を見て成長を感じました。積極的に進路について考えたり、面接練習を納得がいくまで何度も繰り返し練習したり、また、試験に失敗しても最後まで諦めずに挑戦し続けた人もいて、よく頑張っていたと思います。

卒業後は楽しいことばかりではなく、面倒なこと、大変なこと、嫌なことなどにも出会うかもしれません。そんな時は、伊具高校で学んだことを思い出してなんとか笑

顔で乗り切りましょう!!みなさんの今後の活躍を願っています。

3年次 橋浦 勉



三年次の皆さん、三年間関わった先生方、保護者の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。それと同時に、この混とんとした世の中にそれが独り立ちして旅立つことになります。伊具高校で身に付けた力を生かして乗り越えてください。働いたり、新しい学校に進学して環境が変化したりして一喜一憂することも多くあると思います。もしかすると大変だと感じる場面の方が多いかも知れません。そんな時には、考え方を考えてみましょう。「自分だけではない。皆、そう思っているはずだ。」それだけでも気持ち軽くなるかもしれません。そして、それを一週間、一月、一年、三年と繋げていけば慣れてきます。気楽に生きましょう。



3年次 小川 拡

三年次生の皆さん卒業おめでとうございませう。これからはよく食べて、よく寝て、少し仕事して、そしてしっかり遊んでください。

もし仕事を辞めたくなってもそれは三年後に決めること、その間に辛くなったら友達や家族に相談。又は心の病院に行ってみるもあり。会社はどこに行っても、きついこともあれば自分と合わない人が必ず一人は居ます。頑張った決めた進路、そこでしっかりと成長し将来後輩達を引っ張りあげてください。エクストリーム出社って知ってますか？それは入社前にレジャー等楽しんでからその後定期通り出社することです。ルールは遅刻したら失格。遊ぶにも全力を！今後皆さんが心と財布に余裕のある人生を送れることを期待しています！

先生方のイラスト紹介

三年三組菊地瑠渚さんの作品です。先生方の特徴を捉えてほんわりと優しいタッチのイラストになっています。生徒から見た先生方の印象をうかがえるイラストです。

3年1組

●両親へ
高校に上がる気が無かった僕に先生と必死になって説得し、入学させてくれてありがとうございます。

●両親へ
毎日お弁当を作ってくれてありがとうございます。毎日送り迎えしてくれてありがとうございます。ここまで育ててくれてありがとうございます。

●お父さん、お母さんへ
三年間、お父さん色々支えてくれてありがとうございます。お母さんは毎日弁当を作ってくれてありがとうございます。三年間ありがとうございます。

●菅野先生へ
三年間部活動で僕をみていてくれてありがとうございます。先生に教わったことを忘れず、繋いでいきます。

●家族へ
お母さんいつもお弁当と送り迎えありがとうございます。お姉ちゃんわがまま書いてくれてありがとうございます。

●家族へ
三年間雨が降ったり、部活があるとき、送り迎えをしてくれて、ありがとうございます。

●お母さんへ
三年間お弁当作ってくれてありがとうございます。私がいまはママパパ兄貴の弁当、私が作ります!!

●お母さんへ
いつもお弁当と雨の日に学校までおくり迎えありがとうございます。

●家族へ
高校三年間お弁当を作ってくれたり、送迎してくれてありがとうございます。

●家族へ
お父さん毎日お弁当作ってくれてありがとうございます。じい、ばあさん送迎ありがとうございます。

●家族の皆へ
二年半毎日送り迎えありがとうございます。今後とも迷惑をかけませんがよろしくお願ひします。

●先生へ
三年間お世話になりました。これからもがんばります。

●家族へ
人一倍迷惑かけましたが、最後まで支えてくれて本当にありがとうございます。みーんなだいすきです。

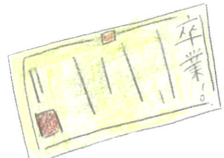
●家族へ
ママ毎日お弁当作ってくれてありがとうございます。

●父、祖母へ
送迎をしたりお弁当を作ってくれてありがとうございます。卒業までもう少しお願ひします。

●お母さんへ
いつも私の頼み事を聞いてくれてありがとうございます。たまに迷惑かけると思うけど、許してね。

●家族へ
雨が降ったとき送り迎えありがとうございます。毎日ごはん作ってくれてありがとうございます。大好き!!

●ママへ
三年間毎日おいしいお弁当作ってくれてありがとうございます。二年間も引き続きよろしくお願ひします! 渡部未菜実



3年2組

●マミーへ
いつも送迎ありがとうございます。みきさん!あと三ヶ月よろしくね!!

●ゆいのんへ
高校に入ってから、一緒に遊んでくれてありがとうございます。高校卒業しても絶対年一回は集まって遊ぼうね。

●三部先生へ
三年間ありがとうございます。関わりやすく、話すのが楽しかったです。

●荒先生、幸子先生へ
大変お世話になりました。いつも私の話を聞いてくださって本当に助かりました。出会えてよかったです。

●親へ
約十八年間お世話になりました。これからもよろしくおねがいします。

●のん、ゆいへ
いつも遊んでくれてありがとうございます!これからもたくさんお世話になります。大好きです。

●ネコのボスへ
小学二年生のころから、十年たちました。天国では元気で過ごしていますか。

●葛原妙子先生へ
二年間お世話になりました。美術部と一緒に支えてくださり感謝しています。

●ふうがなおきはるへ
大好きです。大好きです。

●しゅしゅへ
いつもつらい時にいやしになってくれてありがとうございます。

●お母さん・お父さんへ
十八年間育ててくれてありがとうございます。来年から働くので親孝行していきたいと思ひます!

●機械系の先生へ
一年生の時から三年生までずっと面倒を見ていただきました。感謝してもしきれないです。

●のすけへ
ちゃんとバナナを食べてますか?

●私をこまで育ててくれたお父さんとお母さんには本当に感謝しています。本当にありがとうございます。

●大好きなパパとママへ
反抗期で可愛くない娘だったけど、いつでも味方でいてくれて本当にありがとうございます。

●入学してから短い時間だったけど、女バレーの事を支えてくれたりありがとうございます。元気で長生きしてね。

●機械系の先生方へ
生意気だった僕をい子にしてくれてありがとうございます。八島 大翔 定期的に不仲な芳賀愛花へ

●三年間、嫌になるほど一緒にいてくれてありがとうございます。社会人になっても沢山お出かけしようね。らぶちゅ。



卒業生からの
メッセージ

3年3組

●家族へ
三年間送迎してくれてありがとうございます。欠席が多かったけど楽しく過ごすことができました。

●お父さんお母さんへ
十八年間育ててくれてありがとうございます。これからはお仕事頑張ります!これからもよろしくお願ひします。

●親へ
三年間ほんとにありがとうございます。おかげで楽しい三年間を過ごすことができました。

●家族へ
毎日、送り迎えありがとうございます。免許取ったら旅行してご飯食べて温泉皆で行こう。

●家族へ
十八年間ずっと支えてくれてありがとうございます。今度は自分が家族を支えられるように頑張ります!

●両親へ
生まれてから十八歳になるまでそだててくださいありがとうございます。学費は給料から少しずつかえす。小山 義徳

●お父さんへ
三年間、めいわくかけました。支えてくれてありがとうございます。これからもがんばります。よろしくね!!

●家族へ
三年間ありがとうございます。

●家族へ
三年間、高校に通わせてくれてありがとうございます。専門学校でも頑張ります。

●周りの皆様へ
私のために様々なサポートしてくれて、とても感謝しています。

●お母さんへ
三年間大変なこともあったけど、今までやってこれたのはお母さんの支えがあったからです。

●先生方へ
先生方のおかげで思い出に残る三年間になりました。お話たくさんありがとうございます。

●お父さん・お母さんへ
十八年間こまで立派に育ててくれて本当にありがとうございます。

●両親へ
高校卒業まで育ててくれてありがとうございます。これからも沢山お父さんのかかる息子をよろしくお願ひします。

●お母さんお父さんへ
十八年間育ててくれてありがとうございます。就職して一人暮らししたらお金を上手に使い生活していきます。

●機械系の先生へ
先生方のおかげで三年間楽しく学校生活を送ることができました。本当に色々ありがとうございます。

●親・先生・親戚へ
皆様三年間ありがとうございます。

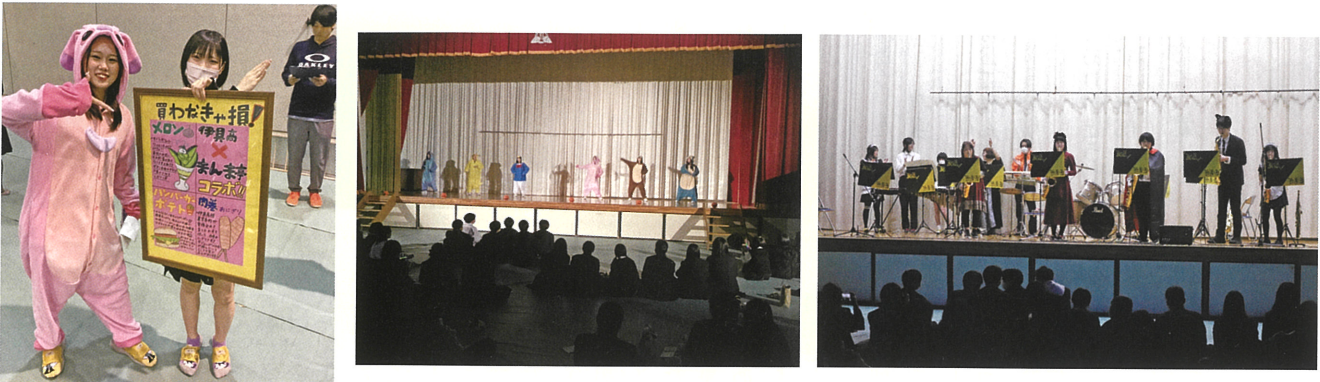
●お母さんへ
十八年間育ててくれて本当にありがとうございます。これからは自分の力で前に進んでいきたいと思ひます。



伊具高祭 #青春したい宣言

令和5年10月27日(金)～28日(土)に、新型コロナウイルス感染症が5類になり、入場者に制限ない文化祭が戻ってきました。コロナ以前の文化祭を知らない生徒たちが、新しく創り育てた伊具高祭を、楽しんでくれた多くの来場者たちを巻き込み、盛況のうちに終了しました。ご協力いただきました来場者、保護者の皆様、ありがとうございました。

校内発表 10月27日(金)

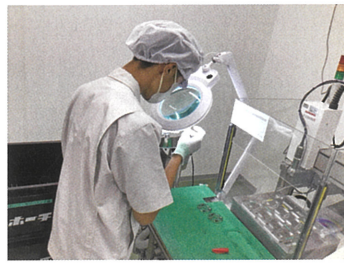


一般公開 10月28日(土)



2年次インターンシップ

九月六日(水)〜十日(日)を中心に、希望する事業所などでインターンシップを行いました。下の写真から活動の様子をご覧ください。また、二月下旬から三月上旬にかけて、希望者による第二回インターンシップも行われます。三年次の進路に向けて頑張ってくださいね。



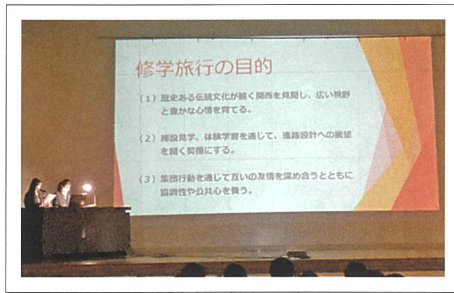
修学旅行報告

十一月二十一日(火)〜二十三日(木)、二年次は関西方面に修学旅行へ行きました。新型コロナウイルス感染症が五類になり、ほぼ制限のない状況での修学旅行でした。インバウンド需要で外国人も多く有名なところはものすごい人混みでした。以下は、生徒の活動記録から抜粋した感想になります。

「初めて関西に行き色々な有名な場所に行っても楽しかったです。」「テレビで見ている景色が目の前にあつてすごい感動しました。」「USJでは絶対にハリポッターのところに行きたくて、感動しました。」「楽しすぎてお土産をあまり買ってない事に帰ってから気付きました。そのくらい夢中になるほど京都は綺麗な場所でした。」「嵐山では、とても自然が溢れていてとても綺麗でした。鳥がいたり水の音などが聞こえてとても良かったです。いつも丸森で自然は感じているけれど、違う雰囲気を感じたので見る事ができてとてもいい経験でした。」「京都、大阪の良さや文化を感じることができ、またいつか来たいなと思いました。」

学習発表会

一月十八日(木)に行われた学習発表会で、三年次は一年間取り組んだ「課題研究」について、各系列やグループごとに発表をしました。二年次はインターンシップと修学旅行について、一年次は「産業社会と人間」の学習成果発表でした。



第七十二回全国高等学校PTA連合会大会

二〇二二城大会 報告

参加者 会長 鈿明 孝一
事務局員 熊谷 郁

八月二十四日(木)に仙台市内六つの会場に分科会があり、二十五日(金)にカメイアリーナ仙台(仙台市体育館)で全体会が開催されました。仙南地区PTA加盟校からのべ七〇名を超す会員のご協力を得て第三分科会の進行を無事終えることが出来ました。会員の皆様には感謝を申し上げます。

分科会前半の講演では、「レジリエンス教育」強く生きるための多様性とコミュニケーションの光々自己肯定感と逆境から立ち上がる力を育む」と題して、仙台大学教授、氏家靖浩氏より講演をいただきました。少し重めのテーマでしたが、軽妙で元気な語り口で会場を沸かせ、最後まで飽きることのない講演でした。

後半のパネルディスカッションでは、前半の講師である氏家先生のコーディネートで、パネリストからの興味ある意見があり、会場からの反応や質問が活発で少々時間を超過するほどでした。

全体会では、「白A」によるプロダクションマッピングをスタートに、開会式・表彰式が行われました。講演では、前年甲子園での優勝、今年は準優勝と甲子園での激闘を終えたばかりの、仙台育英学園高等学校、須江航監督を講師に迎え、「伝わる言葉・失敗から学ぶ」くしなやかな強さで生き抜く力」と題してお話をいただきました。雨天順延により場合によってはこの宮城大会での講演に間に合わなかった可能性も含めて、終わったばかりの甲子園大会から監督就任当初の話題、そして「失敗から学ぶ」ことの大切さなど有意義お話を聞くことが出来ました。体育館の座席がほぼ全て埋まるほどで、参加した方々の熱意が伝わってくる大会でした。

イラスト作者

一年一組 星 桃花さん
一年三組 清水 理奈さん

この二人は美術部の所属で、三年次の卒業に向けたイラストを依頼したところ冬休みの間に作成してくれました。手書きの絵を取り込んだものを四・五ページに使わせてもらいました。卒業とその季節にあったイラストで優しい雰囲気を感じてくれました。ありがとうございました。

編集後記

「10月号」は如何でしたでしょうか。無事に皆様にお届け出来た事、安堵しております。学生だった〇年前。寝ても覚めても学校の毎日に「今日も学校かあ、早く休みにならないかなあ」と、時間が経つのをもどかしく感じた時期もありました。しかし今では、秋でもないのに釣瓶がふつ飛ぶ日々の様変わりです。学生時代が如何に緩く楽しく、尚且つ充実していたんだなあ、と懐かしく思います。

さて、桃の花も咲き始め、少し早い春を感じられる季節になりました。三年生の皆さん、並びに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございませう。昨年より成人年齢が引き下げられ、卒業と共に皆さんは大人の仲間入りをする事になります。学生時代とは違う楽しみや困難、沢山の誘惑に出くわす事でしょう。様々な経験を重ね、オリジナルカラーを作り上げてください。卒業生皆さんの今後の活躍を陰ながら応援しています。

今年度最後の広報発行にあたり、先生方にはお忙しい中、今回もご尽力頂き有り難うございました。また、原稿やイラストを寄稿して頂いた皆様にも感謝申し上げます。卒業を迎えられる保護者の皆様、長年にわたるPTA活動への参加お疲れ様でした。これからは応援団として、我が子の活躍を見守っていかれる事と思います。在校生の保護者の皆様には引き続きPTA活動へのご協力、宜しくお願致します。一年間ありがとうございました。

二年次広報委員会